

豊中市は、大阪国際空港や鉄道、高速道路などによる交通アクセスが抜群のハイモビリティ都市。市内の事業所数は13000社を超え、大阪府内で4番目に数えられる産業のまちでもあります。市内事業所のほとんどが中小企業という豊中には、自社の高い技術を活かした画期的な製品を開発し続ける事業所が多く存在します。そんな産業のまち・豊中の魅力を紹介いたします。

オンラインワンのもづくり

豊中からプレス加工で

新たな価値を創造

富士金属株式会社 代表取締役 山中芳さん



優れたプレス加工技術によって、業界では、鉄板の魔術師とも呼ばれる富士金属株式会社。同社の最大の強みは、多種多様な形状の金属部品を、1枚の平板からプレス加工のみで、一体成型できる「超深絞りプレス加工」の技術にあります。金属加工の常識を破るこのオンラインワン技術は、従来の溶接やロー付け、切削加工といった製造工程を不要にし、コスト削減や製造時間の短縮、部品の軽量化、原材料の節約など多くのメリットをもたらします。



平成28年(2016年)2月に竣工した新工場。併せて「事業継続計画(BCP)」を策定し、不測の事態においても供給責任を確実に果たせる体制を構築しています

高い競争優位性を支えるのは、プレス機にセットする「金型」。通常のプレス加工では、金型の設計・製造は外部の専門メーカーに委託するのが一般ですが、同社は約50年前から独自の設計ノウハウを駆使した自社金型による「貫生産」を行ってきた。その高度な技術力は品質要求の厳しい自動車業界からも高い評価を受け、現在は売上の約7割が自動車関連部品。顧客のグローバル展開に合わせ、近年はインドネシアなどでの海外事業も拡大しています。



複雑な形状の部品も1枚の平板からプレス加工だけで実現

【企業情報】

住所：原田中 1-12-3
創業：昭和25年
設立：昭和43年
従業員：65名
主な事業内容：超深絞りプレス加工、精密絞り加工

「こんなものまで深絞り」をキャッチフレーズに、各地の展示会にも積極的に出展して独創技術をアピールする同社ですが、展示会の看板には社名の前に必ず「大阪豊中」の文字を入れます。「大阪の金属加工会社」という「あ、東大阪ですか」とよく言われるんですが、「豊中」にもこんな独自技術をもつ企業があることを知って欲しい」と山中社長。そこには企業のブランド力向上とともに、「ものづくりのまち豊中」の誇りが込められています。

機械職人とシヨコラティエがコラボ

オンラインワンのもづくり

チョコレート専門店も経営する 異色の機械メーカー

加藤工業株式会社 代表取締役 加藤智一さん

食品・化学用機械では、製造からメンテナンスまでの一貫体制で顧客との長期間にわたる取引実績が豊富な加藤工業株式会社。なかでもチョコレート製造用機械では、ワールドチョコレートマスターズ2007で優勝したシヨコラティエ水野直己氏と共同開発するなど、その技術力は折り紙つき。平成26年(2014年)にはテレビドラマ「失恋シヨコラティエ(ラジテレビ)」に美術協力するなどチョコレート機械では全国区のブランドです。

さらに自社機械の品質を実証するために、自ら世界のチョコレートを販売する専門店を開店して、いまや地域情報誌のスイーツ特集では必ず紹介される人気のお店となっています。

「おそくない物を作ってオンラインワンをめざすことが創業時からの企業理念。それを支えるのが高い溶接技術です。温度や振動など製造現場の過酷な環境に耐える機械設備を提供しお客様の信頼を得て

います」と加藤智一社長は話します。機械メーカーがチョコレート販売という意外な取り組みも、オンラインワンをめざすチャレンジ精神の賜物かもしれません。

溶接技術コンクール
全国大会で
入賞するほどの
高い技術が強み

【企業情報】

住所：原田中 1-17-5
設立：昭和46年
従業員：23名
主な事業内容：食品・化学用機械設計・製造



おいしいチョコレートが人気で
パレンタインデーには長蛇の列ができます。
クオリティを追求したチョコレート製造機が稼働

